

2015年2月26日

第24回
地球環境大賞
Since 1992

フジサンケイグループ「第24回地球環境大賞」 『フジサンケイグループ賞』を受賞

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長＜COO＞：村田 紀敏）は、フジサンケイグループが主催する「第24回地球環境大賞」において、間伐材やリサイクルペット素材を活用した環境配慮型商品開発の取り組みが評価され、『フジサンケイグループ賞』を受賞することとなりましたので、お知らせいたします。

「地球環境大賞」は、「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、産業界を対象とする顕彰制度として、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン、名誉総裁：秋篠宮殿下）の特別協力を得て1992年に創設され、本年で24回目を迎えます。本制度は地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の促進や、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的としています。

弊社では、グループの方針として掲げた「環境宣言」および「地球温暖化防止に関する基本方針」に則り、地球環境と企業活動の調和を実現するため、商品の開発から販売に至るサプライチェーン全体の環境問題対策に全社をあげて取り組んでおります。

その取り組みの一つが商品の開発や販売を通じた循環型社会の構築です。具体的には、森林保全活動を行う「セブンの森」から伐採した間伐材を含む紙製飲料容器を採用した飲料等を、グループ PB 商品「セブンプレミアム」として 2014 年 8 月より順次発売。容器には国産木材を 30%以上使用し、健全な森林育成と地球温暖化防止に繋げております。

また、店頭で回収したペットボトルをリサイクルした素材を容器に使用した詰め替え用ボディソープ等の生活家庭用品を同じく環境配慮型 PB 商品として販売。グループを起点とする取り組みから「循環型リサイクル」システムを国内の大手小売チェーン全体として初めて展開いたしました。

今回の受賞を励みに、事業活動を活かした社会的課題の解決（Creating Shared Value）の取り組みとして、こうした環境配慮型商品の開発・販売をより一層拡充してまいります。

【環境配慮型商品の一例】



間伐材を含む紙製飲料容器を採用した飲料

リサイクルペット素材を容器に使用した生活家庭用品

以上